

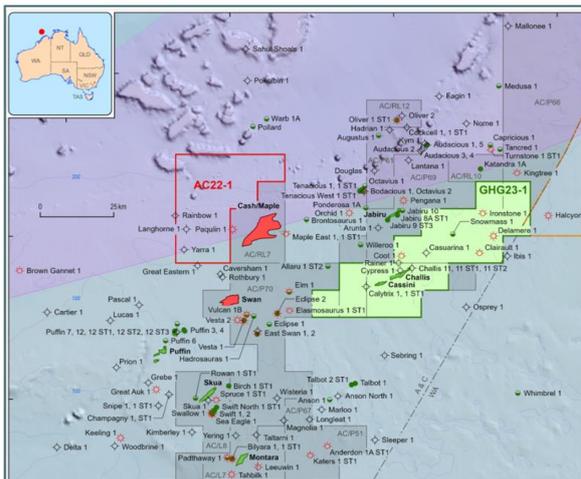
2024年8月7日
電源開発株式会社

deepC Store Pty Ltd
Azuli (Australia) Pty Ltd

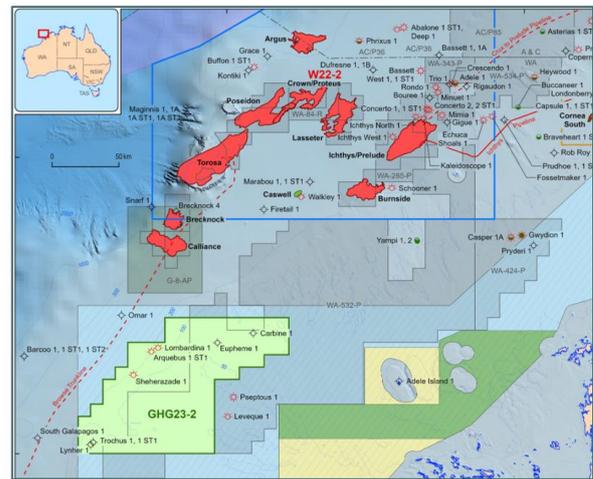
豪州沖合 CO2 貯留鉱区の探査許可を獲得した CCS 事業者との 戦略的提携について

電源開発株式会社（以下「Jパワー」、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：菅野 等）は、豪州のボナパルト盆地及びブラウズ盆地における温室効果ガス貯留鉱区（以下「GHG 鉱区」）の探査許可を獲得した deepC Store Pty Ltd（本社：西オーストラリア州パース、代表取締役社長：車 大仁、以下「deepC Store」）及び Azuli (Australia) Pty Ltd¹（本社：西オーストラリア州パース、代表取締役社長：Ralph Cowan、以下「Azuli」）（総称して「両社」）との間で、戦略的パートナーシップに向けた共同検討契約を締結しました。このパートナーシップを通じて、日本および豪州とその周辺地域で排出される CO2 を分離回収し豪州で貯留するプロジェクトの商用化に取り組んでいきます。

豪州連邦政府が実施した入札を通じて、両社は、豪州沖合で GHG23-1 および GHG23-2 の 2 つの GHG 鉱区について探査許可を獲得しました。J パワーは両社と戦略的パートナーシップに向けた共同検討契約を結び、10 億トンの CO2 貯留ポテンシャルを有する GHG 鉱区を共同で開発するプロジェクトに参画します。本プロジェクトでは、日本、豪州および周辺地域の CO2 排出源で液化 CO2(LCO2)を引き取り、船舶で豪州沖合の浮体式貯留圧入施設 (FSI) に輸送して貯留するバリューチェーンを開発する計画です。



GHG23-1: Challis & Cassini



GHG23-2: Carbine & Leveque

両社が探査許可を獲得した GHG 鉱区は、いずれも豪州の北西海岸から約 200～250km 離れた連邦海域にあります。（上の地図で淡い緑色で示されています。）

これらの GHG 鉱区について、J パワーと両社は、以下の共同検討契約を締結しました。

1. 豪州政府の許可条件に準拠した GHG 鉱区の開発

¹ Azuli Australia Pty Ltd は、英国ウィルトシャーに本社を置く Azuli International Ltd の完全子会社です

2. 日本および豪州の CO2 排出削減目標に貢献するための CCS 事業開発の加速化
3. CCS バリューチェーンを形成する LCO2 船舶輸送、FSI、CO2 貯留層の構築
4. J パワーによる、本プロジェクトの初期段階である共同検討への資金拠出および合弁事業参画の権利取得

同豪州公開鉱区の主な特徴は以下のとおり。

鉱区	GHG23-1	GHG23-2
堆積盆地	ボナパルト (Bonaparte)	ブラウズ (Browse)
サブ盆地	バルカン (Vulcan)	バルクー (Barcoo) 及びカスウェル (Caswell)
鉱区面積	約 1,500 km ² (18 graticular blocks)	約 9,500 km ² (115 graticular blocks)
水深	70–120 m	40–270 m
既存データ量	坑井データ、広範囲な 2 次元及び 3 次元物理探査データが存在する	坑井データ、広範囲な 2 次元及び多少の 3 次元物理探査データが存在する
貯留メカニズム	枯渇油田 (三畳紀の根源岩からなる Challis 及び Cassini 油田) 及びその下位の帯水層	塩水帯水層 (後期ジュラ紀～後期白亜紀の大規模な同斜構造により溶解トラップが期待できる Leveque Shelf 層および上位の堆積物内に発達する Carbine 層)。
詳細 (英文のみ)	Bonaparte Basin Regional Geology	Browse Basin Regional Geology

J パワー執行役員 籾本 晃：「deepC Store 及び Azuli と協力して CCS を開発できることを嬉しく思います。この開発により、日本と豪州、そして周辺地域にとって、CO2 を削減するための貴重な選択肢を提供することを期待しています。CCS は、J パワーの「BLUE MISSION 2050」をはじめ、世界のエネルギートランジションにおいて重要な役割を果たします。当社は CCS の開発・利用機会を追求していきます。」

deepC Store 代表取締役社長 車 大仁：「当社にて開発中の液化 CO2 船舶輸送及び FSI を用いた CCS 事業「CStore1」とフィット感の良い豪州公開鉱区が 2 鉱区落札出来た事を大変嬉しく思います。さらには電力事業の先駆者であり業界をリードする J パワーとの戦略提携することで、当社は CStore1 をアジア太平洋地域初となる大型洋上浮遊式 CCS ハブ・プロジェクトとして確立すると共に、豪州および日本の CCS 事業における戦略的地位向上に向けた当社の積極的姿勢を示すものであります。」

Azuli International 代表取締役社長 Hamish Wilson：「当社は豪州公開鉱区が落札出来た事を大変嬉しく思います。豪州において CO2 地下貯留事業を実施し、日本と豪州の脱炭素目標達成に寄与することが今後重要な事業機会になりうることは、長年認識していました。deepC Store 及び Azuli は共に油田やガス田権益を持ち合わせていないため、両社が手掛ける CCS 事業は低炭素化が困難な産業の CO2 排出量削減に特化出来ます。また、サプライチェーンパートナーと革新的な戦略提携を実施することで商業的にも技術的にも強靱な CCS 事業開発を実現します。deepC Store、J パワー及び他のパートナーと共に合弁事業を積極的に推進し、豪州政府とも協力的な関係を構築してまいります。」

以上